

今週の総合ベスト10

1	文藝春秋	一人称単数	村上春樹	¥1,650	NEW
2	文藝春秋	少年と犬	馳星周	¥1,760	NEW
3	文響社	夢がなえるソウ 4ガネーシャと死神	水野尚也	¥1,738	↑
4	新潮社	しちめんかん	島中恵	¥1,540	NEW
5	学研ファス	なぜ僕らは働くのか	佳奈池上彰	¥1,650	↓
6	中央公論新社	気がついたら、終着駅	佐藤愛子	¥1,320	→
7	新潮社	欲が世ました	ヨシタケシンスケ	¥1,100	NEW
8	ポロズ新社	ねせのくみ	ヨシタケシンスケ	¥1,078	NEW
9	飛鳥新社	「変わりきり」で語る、かきくはなる「織姫」の本	武田友紀	¥1,324	↓
10	新潮社	ほは！ヒーローでホワイトで、ちよブルー	フレティみかこ	¥1,485	↑

7/20~7/26

今週のPICK UP

スキマワラシ



著者：恩田 陸 税込価格：¥1,980（本体：¥1,800）
 出版社：集英社 サイズ：20cm／462p
 発行年月：2020.8 ISBN：978-4-08-771689-4
 ■内容■古道具店を営む兄と、ときおり古い物に秘められた「記憶」が見える弟。ある日、ふたりはビルの解体現場で目撃された少女の噂を耳にする。再開予定の地方都市を舞台にした、ファンタジックミステリー。
 ■著者■〈海堂尊〉1964年、宮城県生まれ。「夜のピクニック」で吉川英治文学新人賞と本屋大賞、「蜜蜂と遠雷」で直木賞と二度目の本屋大賞を受賞。

あらためて、「水」に対する防災意識を



洪水と水害をとらえなおす

著者：大熊 孝 税込価格：¥2,970（本体：¥2,700）
 出版社：農文協プロダクション サイズ：20cm／281p
 発行年月：2020.5 ISBN：978-4-540-20139-4
 ■内容■人は自然と切れて存在することはできない。日本人の伝統的な自然観に迫りつつ、今日頻発する水害の実態と今後の治水のあり方を論じ、ローカルな自然に根ざした自然観の再生と川との共生を展望する。大熊河川工学集大成の書。

水害の大研究 なぜ起こる？ どうそなえる？

著者：河田 恵昭 税込価格：¥3,520（本体：¥3,200）
 出版社：PHP 研究所 サイズ：29cm／55p
 発行年月：2020.7 ISBN：978-4-569-78929-3
 ■内容■水害が起こってからでは、被害を少なくするのは難しい。水害が起こることを前提に、必要な知識を写真やイラストとともに伝える本。なぜ水害が起こるのか、その原因をわかりやすく説明し、水害にどう備えるかを紹介する。

自然災害サバイバル 2 水害

著者：木原 実（監修）、小松 亜紗美（イラスト）
 税込価格：¥3,300（本体：¥3,000）
 出版社：日本図書センター サイズ：25cm／55p
 発行年月：2020.4 ISBN：978-4-284-20456-9
 ■内容■雨と風が強くなったら？ 道が水にしずんでいたら？ 水害がおきたときに判断にまようシチュエーションをクイズにして出題。水害がおきたときにどんな行動をとるべきかをイラストやマンガでわかりやすく解説する。



今週のお薦め
 の新刊



四畳半タイムマシンブルース

著者：森見 登美彦 価格：¥1,650（本体：¥1,500）
 出版社：KADOKAWA サイズ：20cm／225p
 発行年月：2020.7 ISBN：978-4-04-109563-8
 ■内容■気ままな連中が「昨日」を改変。世界の存続と、恋の行方は！？ 森見登美彦「四畳半神話大系」と上田誠「サマータイムマシン・ブルース」のコラボレーション作品。
 ■著者■〈森見登美彦〉1979年奈良県生まれ。「太陽の塔」で日本ファンタジーノベル大賞を受賞しデビュー。「夜は短し歩けよ乙女」で山本周五郎賞、「ペンギン・ハイウェイ」で日本SF大賞を受賞。



食王

著者：榎 周平 税込価格：¥1,980（本体：¥1,800）
 出版社：祥伝社 サイズ：20cm／393p
 発行年月：2020.7 ISBN：978-4-396-63590-9
 ■内容■外食チェーンの経営者・梅森は、麻布の呪われた立地のビルを購入。商売人として最後の闘いを挑んだ男の常識破りの秘策とは…。働きがい改革・地方創生のヒントが満載。
 ■著者■〈榎周平〉1957年生まれ。米国系企業勤務を経て作家業に専念。著書に「プラチナタウン」「介護退職」「和僑」など。



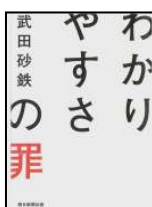
百年と一日

著者：柴崎 友香 税込価格：¥1,540（本体：¥1,400）
 出版社：筑摩書房 サイズ：20cm／185p
 発行年月：2020.7 ISBN：978-4-480-81556-9
 ■内容■地下街にはたいてい噴水が数多くあり、その地下の噴水広場は待ち合わせ場所、何十年前も、数年後も、誰かが誰かを待っていた…。人生と時間を描く新感覚物語集。
 ■著者■〈柴崎友香〉1973年大阪生まれ。「その街の今は」で芸術選奨文部科学大臣新人賞、織田作之助賞大賞、咲くやこの花賞、「寝ても覚めても」で野間文芸新人賞、「春の庭」で芥川賞を受賞。



繋渡り

著者：もちぎ 税込価格：¥1,540（本体：¥1,400）
 出版社：KADOKAWA サイズ：20cm／222p
 発行年月：2020.7 ISBN：978-4-04-064722-7
 ■内容■作家の父と弟と暮らす少年、未智留。凡庸な両親に育てられた少女・残花。自らをほんの少しだけ優れた、でも大したことのない存在と断じる二人の平穏な関係は、唐突に終わる…。
 ■著者■〈もちぎ〉作家。元ゲイ風俗とゲイバーの従業員。SNSフォロワー64万人を超える著者の初小説。



わかりやすさの罪

著者：武田 砂鉄 税込価格：¥1,760（本体：¥1,600）
 出版社：朝日新聞出版 サイズ：19cm／278p
 発行年月：2020.7 ISBN：978-4-02-331876-2
 ■内容■「すぐにわかる」に頼るメディア。わかりやすさの妄信、猛進が、私たちの社会にどのような影響を及ぼしているのだろうか。「わかりやすさの罪」について記す。
 ■著者■〈武田砂鉄〉1982年東京都生まれ。出版社勤務を経てフリーライター。ラジオ番組パーソナリティ。「紋切型社会」でBunkamuraドゥマゴ文学賞受賞。ほかの著書に「芸能人寛容論」など。



小学館の図鑑 NEO 科学の実験 [新版]

著者：ガリレオ工房（指導・監修）、伊知地 国夫、他（写真）
 税込価格：¥2,200（本体：¥2,000）
 出版社：小学館 サイズ：29cm／167p
 発行年月：2020.7 ISBN：978-4-09-217317-0
 ■内容■直径 1.5m のビニルプールで作った「巨大空気砲」、太陽光で目玉やきが作れる「ソーラークッカー」、簡単にできる「リニアモーターカー」、料理の実験「手作りアイスクリーム」などをはじめ、学校の先生たちが考えた、新しく楽しい科学実験を約 200 種類紹介。「光」「音」など12のテーマに分け、写真や図とともに説明する。楽しむだけでなく、科学的な原理を解説するコーナーも充実。